

# R2年度 地域別がん対策見える化推進事業(概要)

## ◆目的

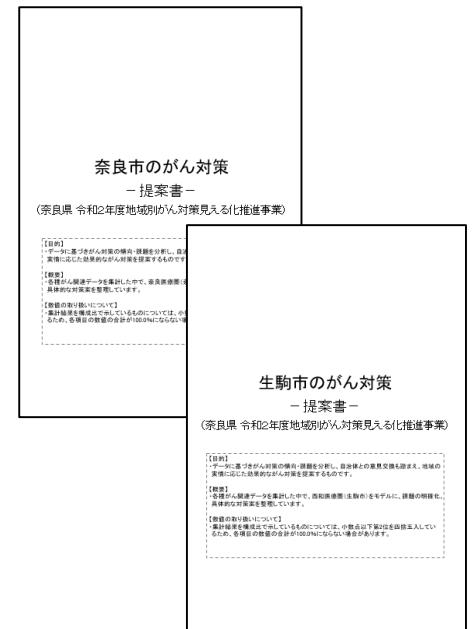
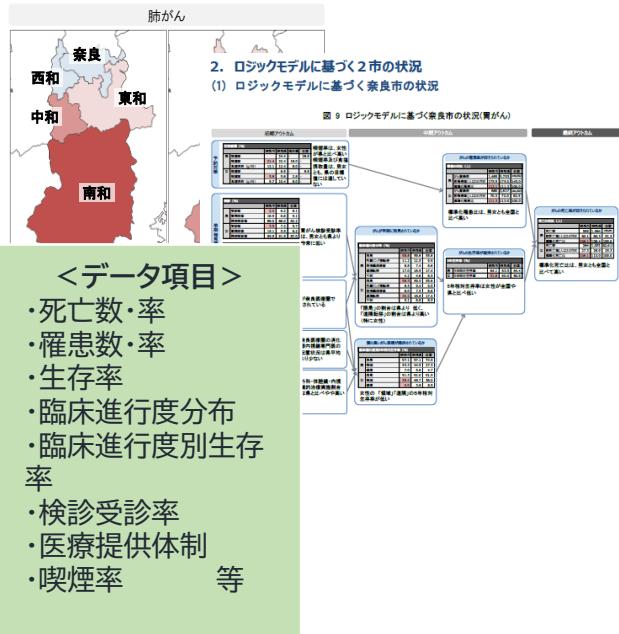
- 各医療圏ごとに、各種がん関連データ(がん罹患率、死亡率、がん検診受診率、喫煙率、塩分摂取量等)を集計・分析し、地域の課題を明らかにするとともに、市町村に対し、効果的ながん対策の取組を提案する。
- 平成30年度の南和医療圏、令和元年度の東和医療圏、中和医療圏に続き、令和2年度は奈良医療圏、西和医療圏で実施した。

## ◆分析から提案までの流れ

医療圏別のデータを集計・分析  
ロジックモデルを活用して課題整理

モデル市町村において  
データをもとに地域関係者と意見交換

効果的ながん対策  
優先的に取り組む対策を提案



## ◆令和2年度明らかとなったこと(例)

医療圏	モデル市町村	医療圏ごとの最優先課題	要因となるデータの課題	課題についての地域の声	県からの効果的ながん対策の提案例
奈良医療圏	奈良市	胃がんの死亡・罹患が男女とも高い 標準化死亡比:男性108.1 女性108.1 標準化罹患比:男性112.1 女性111.3	<早期発見> ・胃がん検診受診率が低い ・早期発見ができていない	・医療機関が多いため、検診には行かなくてよいとなっているのではないか	・罹患患者数が増加する50歳後半・60歳前半を重点ターゲットとして、がん検診の受診勧奨を積極的に行う
			<生活習慣> ・女性の50・60歳代の喫煙率が高い	・禁煙外来も一時はよく利用されたようだが、今はあまり話題になっていない	・医師会・医療機関との連携のうえ、特定健診等の場で禁煙外来の紹介を行う
西和医療圏	生駒市	胃がんの死亡・罹患が男女とも高い 標準化死亡比:男性103.9 女性112.0 標準化罹患比:男性99.6 女性105.3	<早期発見> ・胃がん検診受診率が低い	・広く市民に検診の必要性や検診機会について周知する方法を検討している	・胃がん特集として、標準化死亡比・標準化罹患比、検診受診率等を広報等に掲載し、さらなる周知の強化を図る
			<生活習慣> ・男性の20・30歳代の喫煙率が高い	・禁煙希望者が禁煙できるような情報提供が必要	・喫煙率が高い20・30歳代の男性を重点ターゲットとして、喫煙対策を行う

## ◆令和3年度の予定

令和3年度は、これまで集計・分析したデータを用いて県・市町村別の最優先課題を抽出し、評価シートを作成。市町村にデータの読み解き方を研修し、地域に合った住民への打ち出し方を検討する。